

令和4年度 地方創生関連交付金活用事業 検証結果

	地域再生計画	地域再生を図るために行う特別措置適用事業		重要業績評価指標 (KPI)				達成状況・評価
	計画名 (計画期間)	事業名	事業概要	指標名	指標値 (上段：前年度比) (下段：期間累計)	目標 期間	実績値 (上段：前年度比) (下段：期間累計)	
1	栃木市空き家・空き店舗・空き蔵を活用した重伝建地区活性化計画 (R02～R04年度)	栃木市空き家・空き店舗・空き蔵を活用した重伝建地区活性化プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・味噌工場跡地をまちづくりの拠点として、地区内の空き家・空き店舗・空き蔵の活用を図る。 ・嘉右衛門町伝建地区の歴史を後世につなぐための情報発信を行うガイダンスセンターとして旧味噌工場跡地を活用するほか、跡地内の伝統的建造物を若者が訪れる飲食店舗等として活用する。 ・空き家等の物件のデータ及び所有者や利用希望者の意向等を一括管理し活用に繋がる様、マッチング事業を実施する。 	① 拠点施設及び地区内イベントの入込客数	2,000 人増	R4年度	8,905人増	達成状況及び今後の取組方針
				② 空き家・空き店舗・空き蔵を活用した件数	6,000 人増	R02～R04	13,270人増	
					2 件増	R4年度	1件増	
				③ 新規出店数	5 件増	R02～R04	4件増	
					1 店増	R4年度	1店増	
				④ まちづくりセミナーの参加者数	3 店増	R02～R04	5店増	
50 人増	R4年度	208人増						
⑤	130 人増	R02～R04	208人増					
2	とちぎ山車会館 広場「蔵の街シナジーマルシェ」整備による産業活性化計画 (H30～R4年度)	とちぎ山車会館 広場「蔵の街シナジーマルシェ」整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「蔵の街シナジーマルシェ」を整備することにより、本市の各産業連携による相乗効果を発揮できる「市～マルシェ」を創設するとともに、市民や観光客の休憩スペース及びイベントスペースとして新たな活用を図る。 ・小屋掛けや倉庫を設置し、周辺の景観にも配慮した整備を行うことで、本市の観光資源のブラッシュアップと新たな魅力創造の一助とする。 	① 本事業による「蔵の街シナジーマルシェ」「各種イベント」稼働日数	20 日増	R4年度	0日増	達成状況及び今後の取組方針
				② 市内事業所年間売上額	100 日増	H30～R4	15日増	
					10 百万円増	R4年度	—	
				③ 観光消費額	43 百万円増	H30～R4	—	
					150 円増	R4年度	—	
				④	750 円増	H30～R4	—	
—		—						
⑤	—		—					
			<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響による制限緩和もされつつある中であっても、感染予防対策を徹底したうえで事業を進めたが、目標値を下回る結果となった。 ・今後も、引き続き新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を徹底したうえで、様々な業種が連携したイベントの開催を推進するとともに、市民や民間事業者に対しイベントの開催を促す。 					

令和4年度 地方創生関連交付金活用事業 検証結果

	地域再生計画		地域再生を図るために行う特別措置適用事業		重要業績評価指標 (KPI)			達成状況・評価
	計画名 (計画期間)	事業名	事業概要	指標名	指標値 (上段：前年度比) (下段：期間累計)	目標 期間	実績値 (上段：前年度比) (下段：期間累計)	
3	栃木市渡良瀬サイクルパーク(仮)整備計画 (R3～R7年度)	栃木市渡良瀬サイクルパーク(仮)整備事業	<p>・サイクルスポーツの拠点となる施設を整備することにより、サイクリストの誘客増加を図る。</p> <p>・常設の自転車専用コース、パンプトラック等を整備し、複数種のサイクルスポーツを楽しめる環境を整備する。</p> <p>・併せて、市内既存飲食店や観光施設への案内を行うことで、単に自転車のみを楽しむだけでなく、自転車を核とした地域振興策として展開していくことで、施設周辺地域の経済活性化を図る。</p>	① サイクルパーク(仮)利用者数	0 人増	R4年度	8,846人増	<p>達成状況及び今後の取組方針</p> <p>施設のオープン以後、イベント開催やSNS等を通じた周知活動により、サイクルパークの利用者は順調に推移している。(KPI①)</p> <p>一方で、新型コロナウイルス感染症の影響により、観光客入込数、観光消費額が大幅に落ち込んだ令和2年度、令和3年度と比較し、回復は見られるものの、依然目標値の達成には及んでいない。(KPI②③)</p> <p>今後、継続的なイベントやセミナー・教室の開催のほか、県外・県内を問わず宇都宮ブリッツェンの知名度を活かした施設利用PR活動やわたらせクリテリウム以外の大規模イベント開催誘致の働き掛けを行う。また、渡良瀬遊水地内で開催されるイベントとの連携を図ることでKPIの達成を目指す。</p>
				② 渡良瀬遊水地の観光客入込数	1,000 人増	R4年度	▲17,802人増	
				③ 渡良瀬遊水地における観光消費額	1,500 千円増	R4年度	▲28,110千円増	
				令和4年度取組	1,500 千円増	R3～R7	▲159,655千円増	
				④				
⑤								